

研究成果展開事業

マッチングプランナープログラム 「探索試験」

平成27年5月25日

イノベーション拠点推進部 地域イノベーショングループ



科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency

研究成果展開事業

有望な基礎研究の成果の実用化につなぐため、基礎研究と実用化の間にある
研究開発における「死の谷」の克服民間企業ではリスクの高い研究開発について支援

研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)

マッチングプランナープログラム(新規)

大学発新産業創出プログラム(START)

センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム

世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム(新規)

先端計測分析技術・機器開発プログラム

知的財産を活用した産学による共同研究開発

課題や研究開発の特性に応じた最適なファンディングを設定し、総合的かつシームレスに支援。

マッチングプランナーを介した企業ニーズ解決による地域科学技術イノベーション創出

JSTのネットワークを活用して地域の企業ニーズと全国の大学等発シーズとをマッチングプランナーが結びつけ、共同研究から事業化に係る取組を支援。

民間の事業化ノウハウを活用した起業前段階からの事業化支援

民間の事業化ノウハウを活用し、大学発ベンチャーの起業前段階から、市場や出口を見据えた研究開発・事業育成による事業化を支援。

ビジョン主導型のチャレンジング・ハイリスクな研究開発

10年後を見通した革新的な研究開発課題について基礎研究段階から実用化を目指した産学連携によるアンダーワンルーフでの研究開発を集中的に支援。

地域内外の研究資源を集積した産学官連携プラットフォームの形成

地域の優位性ある研究開発資源(人材、シーズ、先端研究設備等)を組織を超えて統合的に運用するとともに、地域外の優れた資源も取り込み、革新的技術シーズの創出と関連分野の優れた若手人材の育成を行う産学官連携のプラットフォームを形成。

ユーザーニーズを踏まえた計測分析技術・機器・システムの開発

科学技術の共通基盤である計測分析技術について、産学連携による革新的な技術開発、機器開発、性能実証等を推進。グリーンイノベーション、ライフイノベーション、震災からの復興・再生に貢献。

マッチングプランナー プログラムとは

1. マッチングプランナーによるマッチング活動

マッチングプランナー(MP)とは、地域の支援機関・大学等と連携しながら、企業が直面する技術課題(企業ニーズ)を把握し、全国の大学等の研究成果(大学シーズ)の中からその解決等に資するものを結びつける専門人材です。

全国を「東北・北海道」・「広域関東圏」・「近畿・中部」・「中国・四国」・「九州・沖縄」の5つのブロックに分け、各ブロックにMPを配置し、情報を共有しながら、全国的な視野で企業ニーズと大学シーズを結びつけます。

2. 探索試験

企業ニーズの解決等のため、大学シーズを活用した試験研究等を支援(基準額170万円×1年)します。

3. 成果展開

技術移転シーズとして有望な研究成果については、MPが研究開発期間終了後も企業における商品開発、事業化を目指す段階まで支援します。

マッチングプランナーの仕事

STEP1

- 企業を訪問し、困り事について相談に乗り、課題の把握・特定を行います。

STEP2

- 大学のコーディネータ、地域の産学官ネットワークと連携しつつ、企業のニーズの解決に繋がり得る最適な大学シーズを全国から探索・提案し、マッチングを行います。

STEP3

- 見出した大学シーズの適合性を検証するための探索試験への申請、共同研究支援、高付加価値製品開発、事業化までのサポート等を行います。

探索試験の概要

【目的】

地域における企業の競争力強化に資するべく、企業ニーズの解決等のため、大学シーズを活用した試験研究等を支援します。

Ex.・企業ニーズ解決のための試験研究費

・実用化に必要なデータ取得、試作品製作に必要な経費 等

【公募期間・申請方法】

平成27年5月20日(水)～7月14日(火)正午

※府省共通研究開発管理システム(e-Rad)による電子申請

【支援内容】

(対象)大学・高専・公設試等 (採択予定件数)最大250件程度

(期間)原則、1年間 (金額)基準額 170万円/件

探索試験：申請の要件①

1. どんな研究が申請できるのか...

企業ニーズに基づき、マッチングプランナーまたは大学等のコーディネータが技術移転の可能性を見込む大学シーズ活用のための研究開発であることが必要です。

さらに、大学シーズによる企業ニーズの解決や技術移転へとつながる具体的な計画(知財戦略を含む)が提示され、達成すべき目標が明確であることが求められます。

2. ただし...

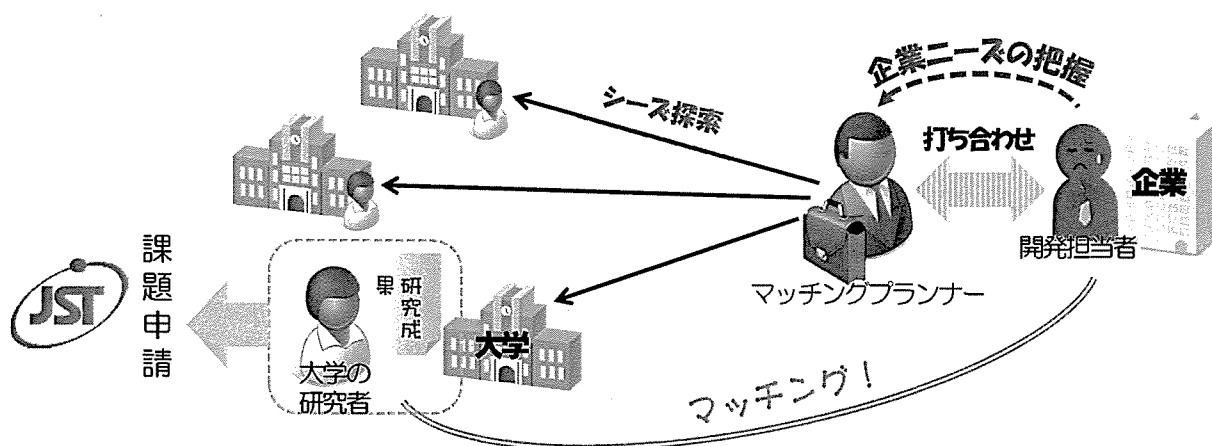
医療分野の研究開発は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)にて一元的に支援を実施するため、本公募では原則として募集対象外です。詳細はAMEDホームページ

(<http://www.amed.go.jp/program/list/02/>)等をご確認下さい。

探索試験：申請の要件②

3. 申請者は...

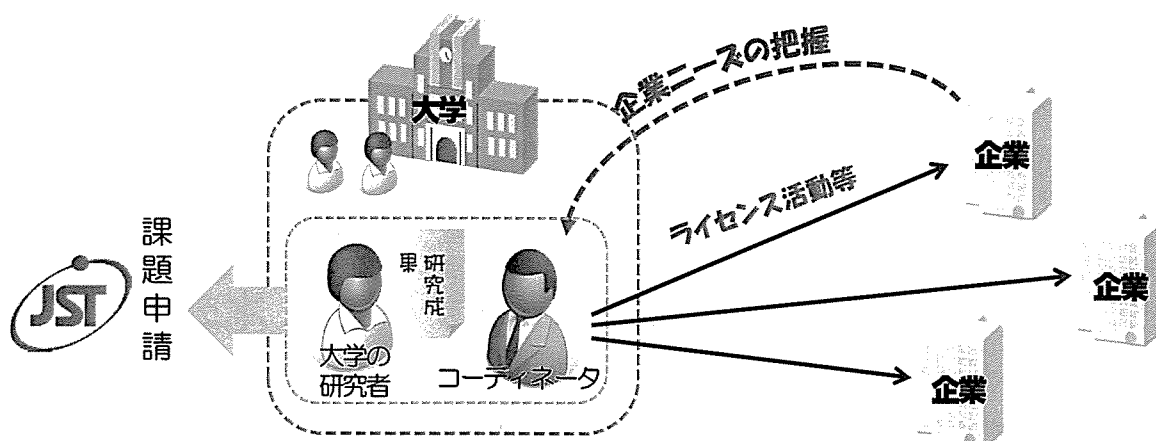
①マッチングプランナーが発掘した企業ニーズの解決のための研究開発提案の場合→ **大学等の研究者による申請**



探索試験：申請の要件③

3. 申請者は...

②大学等のコーディネータが見出した企業ニーズに基づく研究開発提案の場合→ **大学等の研究者及びコーディネータ等との共同申請**



探索試験：申請の方法

※府省共通研究開発管理システム(e-Rad)による電子申請

提案形態 \ 主な相違点	申請の方法	e-Rad 申請主体	マッチングプ ランナーとの 調整
①マッチングプランナー が発掘した企業ニーズ の解決のための研究開 発提案	大学等の研究者に よる申請	研究者	必須
②大学等のコーディ ネータが見出した企業 ニーズに基づく研究開 発提案	大学等の研究者及 びコーディネータ等 との共同申請	コーディ ネータ等	必須では ない

探索試験：支援金額・期間・契約等

【支援金額】 基準額 170万円/件(間接経費・再委託費を含む)

【期間】 原則、1年間(研究開始:10月を予定)

【契約】 JST指定の雛形に基づき、研究委託契約を締結

【特記事項】

①基準額を超えて申請することが可能です。

- 申請書様式「別紙」にその金額、使途、理由を明確に記載するとともに、それにより記載される効果を記載

②研究開発期間の延長を希望することが可能です。

- 申請書の様式「別紙」にその期間、理由を明確に記載

③企業へ研究開発費を支出することが可能です。

- 「再委託費」に計上

探索試験：研究開発費の詳細

申請可能な研究開発費(1)直接経費(2)間接経費(3)再委託費

(1) 直接経費

- 物品費(設備備品・消耗品費)
- 旅費
- 人件費・謝金
- その他(外注費、その他経費)

(2) 間接経費

- 研究開発に関連した研究環境の改善や機能向上のための経費。直接経費の30%を上限。

(3) 再委託費

- 申請機関より、他の研究機関へ研究の再委託を実施するための経費。
※外注費と再委託費の合計額は、原則、研究開発費から間接経費を除いた額の50%以内

探索試験：公募期間、選考及び採択

【公募期間】

平成27年5月20日(水)～7月14日(火)正午

【採択予定件数】

最大250件程度

【審査方法】

形式審査→書面審査(外部有識者)→課題の決定

【審査結果通知】

採否に関わらず申請者に文書にて通知(9月下旬予定)

探索試験：審査の観点

【審査の観点】以下の観点に基づき総合的に実施します。

観点①地域の企業ニーズに基づいて取り組むべき、大学シーズを用いた研究開発の目標及び計画がより具体的かつ明確であり、妥当なものであること

観点②提案の大学シーズ、着想等、あるいはその活用方法等に新規性があり、革新性または優位性、有用性が認められること

観点③本研究開発の実施により、本格的な技術移転を目指す産学協同研究開発に繋がることが期待されること

観点④試験研究の成果としての技術移転の実現により、経済的・社会的な波及効果が期待されること

観点⑤目標達成のために適切な試験計画が具体的に記載されており、かつその内容が合理的と認められること。

探索試験：応募に当たっての留意点

・研究責任者(プロジェクトリーダー)は「研究倫理に関する教育プログラム」を修了していることが応募要件です。修了していることが確認できない場合は、要件不備となります。

a. 所属機関において、研究倫理教育に関するプログラムを修了していますか？

はい

いいえ

b. 過去にJSTの事業等において、CITI Japan e-ラーニングプログラムを修了していますか？

はい

e-Radの応募情報入力画面にて、修了している旨を申告してください。

いいえ

CITI Japan e-ラーニングプログラムダイジェスト版 (<http://edu.citiprogram.jp/jstreg8.html>)を受講してください。修了後、e-Radの公募情報入力画面にて、修了の旨を申告してください。

探索試験：申請書の作成・提出等

府省共通研究開発管理システム(e-Rad)による電子申請です。

1. e-Rad申請者

- ・大学等の研究者による申請の場合→研究者
- ・大学等の研究者及びコーディネータ等との共同申請の場合→コーディネータ等

2. 提出までの流れ

- ①e-Rad登録(所属機関登録及び研究者登録)
 - ②申請書作成
 - ③e-Rad上で申請情報入力および②のファイルをアップロード、提出
- ※詳細は公募要領「e-Radを利用した申請書の作成・提出等」を参照

探索試験：申請書記載内容

様式	項目	ページ数	記載内容
様式1	基本情報	3枚程度	課題名、課題概要、申請者等の情報を記載
様式2	研究開発課題の内容	2～3枚程度 (Ⅰ及びⅡ)	申請課題の内容(Ⅰ)、目標と研究開発内容(Ⅱ)、実施体制、研究開発費を記載
様式3	コーディネータ、企業の研究開発関係者、またはマッチングプランナーの見解	1枚程度	企業化への可能性、想定される用途等について記載
様式4	他事業への申請状況	—	該当する場合のみ
様式5	特殊用語等の説明	—	該当する場合のみ
別紙	基準額を超える理由・研究開発期間の延長理由	1枚	該当する場合のみ

注①説明文・注意書きは削除して提出

②e-Radにアップロードできる最大容量は10MB

③下中央に通しページ(-1-、-2-...)を付与

探索試験：申請書記載上の注意点

【申請方法による相違点】

様式の項目 申請方法	【様式1】 コーディネータ、 マッチングプラン ナー情報	【様式1】 企業の研究 開発者情報	【様式2】 ニーズの詳 細作成者	【様式3】 見解作成者
①大学等の研究者 による申請	「マッチングプラン ナー」情報を記 載	必須	マッチング プランナー	マッチング プランナー
②大学等の研究者 及びコーディネータ 等との共同申請	「大学等コーデ ィネータ」情報を記 載	採択候補 となった段 階までに 原則提示	コーデ ィネータある いは企業 の担当者	コーデ ィネータある いは企業 の担当者

探索試験：問い合わせ先

本事業及び申請書類の作成・提出手続き等に関する問い合わせ

担当部署	お問合せ先	URL
国立研究開発法人 科学技術振興機構 イノベーション拠点推進部 地域イノベーショングループ	Tel: 03-6272-4732 (午前10:00～午後5:00) ※月～金曜日(祝祭日を除く) e-mail: mp@jst.go.jp	http://www.jst.go.jp/mp/ ※公募要領・申請書 様式のダウンロード 可能

府省共通研究開発管理システム(e-Rad)の操作方法に関する問い合わせ

担当部署	お問合せ先	URL
府省共通研究開発管理システム (e-Rad)ヘルプデスク	Tel: 0120-066-877 (午前9:00～午後6:00) ※月～金曜日(祝祭日を除く)	https://www.e-rad.go.jp/ ※公募要領・申請書 様式のダウンロード 可能

ご清聴ありがとうございました。

Japan Science and Technology Agency

 国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency